

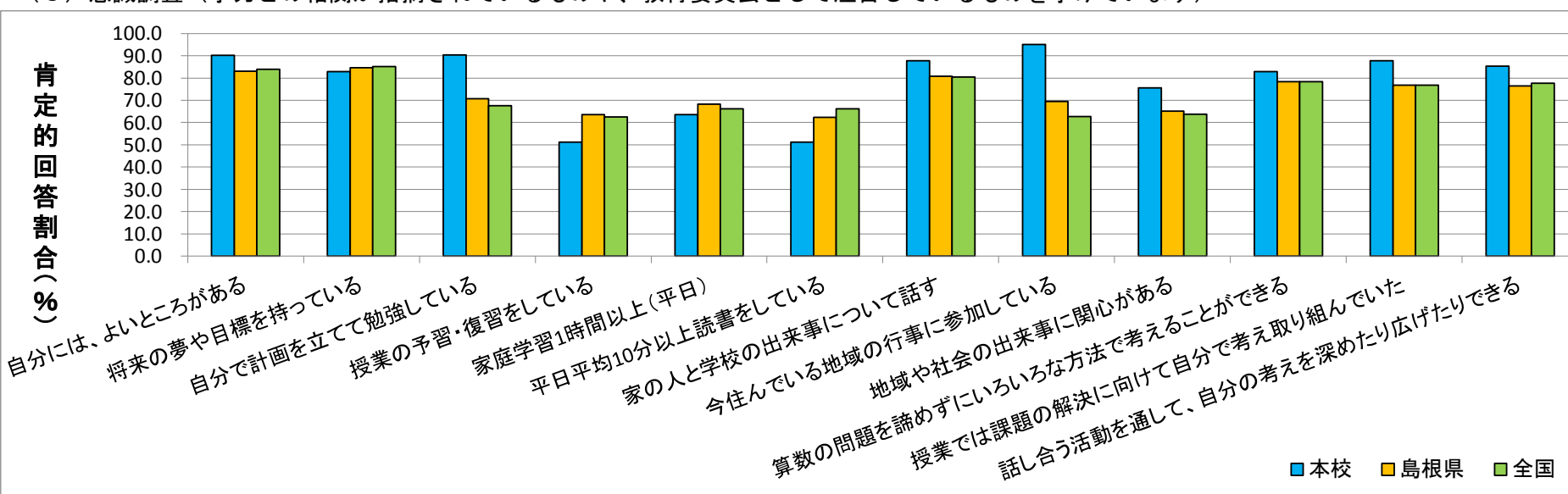
（１）学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題（○：成果，●：課題）	対 策
国語	A（基礎）	○経験に基づいた題材等は、興味をもって読み取ることができる。 ●資料や物語文を問われていることと関連させて読み取り、重要なものを選択する力が弱い。 ●漢字の意味や使い方を理解し、正しく書くことが不十分である。	・簡単な資料や短い文を読み、関連させて考える機会を増やす。 ・漢字の小テストや月1回の書き取り会を継続的に実施し、基礎的な内容の定着を図る。
	B（活用）	○自分の考えを表現する力がある。 ●「他者の考えを取り上げる」「他者の思いを説明する」という条件を満たして解答する力が弱い。	・テーマ、条件、字数制限などのある文章を書く機会を設ける。 ・話し合いや討論会など他者の意見を聞き、自分の考えを比較したり反映させたりする活動を増やす。
算数	A（基礎）	○全体的に無解答率は低い。 ●全体的に、県平均を下回っている。中でも「図形」「数量関係」の誤答が多い。	・円周率の問題に課題がある。作図や具体物を使ったり、練習問題をたくさん取り入れる。 ・定期的な小テストや月1回の計算テストを継続的に実施し、基礎的な内容の一層の定着を図る。
	B（活用）	○毎月実施している計算会などの取り組みにより、「数と計算」についてはよく理解できている。 ●「図形」に関する力がまだ十分に身につけていない。 ●記述式で解答する問題で点数が低くなっている。	・授業の中で視覚的な支援を行ったり、実物を使用したりすることで図形の力を伸ばす。 ・自分の考えを書く学習活動を積極的に行う。
理科		○理科への関心が高く、意欲的に学習に取り組むことができるている。 ●全体的に若干県平均を下回っている。条件に合わせて解答する力が弱い。	・実験の結果からいえることを、自分のことばでまとめる時間を確保し論理的に説明する機会を増やす。 ・問題をじっくり読む習慣をつける。

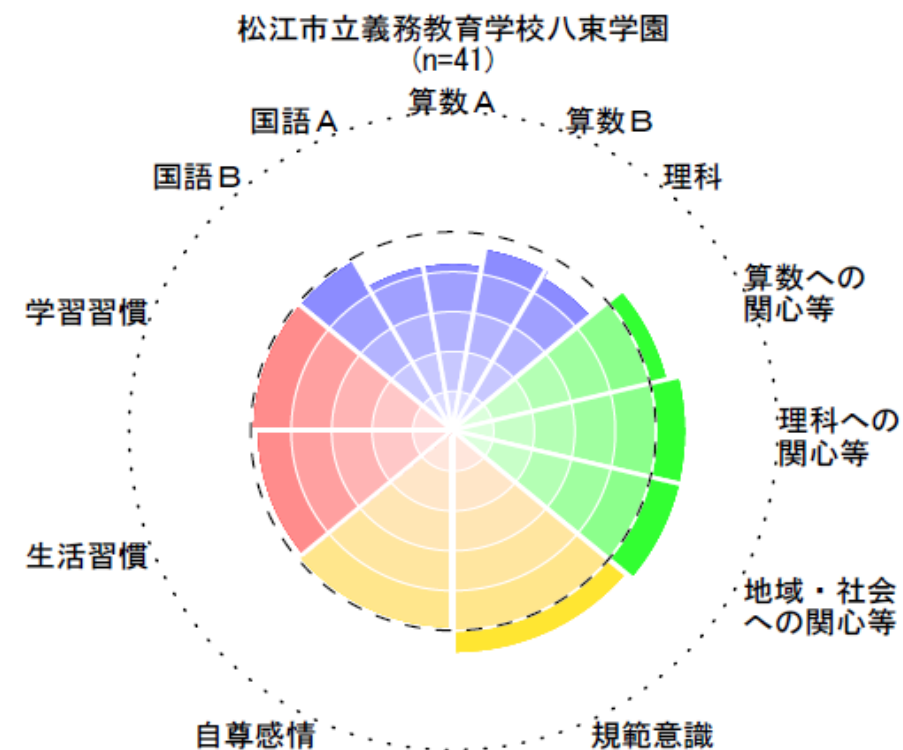
（２）生活意識調査から見られた傾向

成果と課題（○：成果，●：課題）	対 策
○地域のつながりが強く安定した環境の中で、知的好奇心と理科等の科学的自然的内容に関心をもって学習に取り組んでいる。 ●家庭での学習、生活について、課題がみられる。	・地域との関わりを活かし、よりダイナミックな学習単元の構成等を工夫する。 ・懇談会、学年・学級便り等を使って、家庭への啓発や学校での取り組みの紹介を行い、学習・生活面の基本的な習慣について定着をうながす。

（３）意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



（４）学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



（５）その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・児童一人ひとりの実態と抱える困難さ、原因を考察した上で支援を考え、誰にとっても分かりやすい授業づくりに取り組む。
- ・学習の到達点を明示し、児童が見通しをもって取り組めるようにする。

【参考】

○平均正答率

		本 校	松江市	島根県	全国
国語	A	64	70	68	70.7
	B	54	57	55	54.7
算数	A	56	62	61	63.5
	B	47	50	49	51.5
理科		56	59	58	60.3

受検者数 41 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。